

学期	月	時数	学習内容			評価の観点と評価規準				教材・教具
			領域・題材	指導目標	指導内容	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
1	4 5 6 7	1	オリエンテーション	持ち物の説明 美術に対して心構え、図工、美術の違い	美術を学ぶ意識を高め、表現をすることの意義を理解する	美術の創造活動に喜びを持ち、表現や鑑賞の能力を身につけるために、主体的に学習に取り組むことができる				ワークシート 絵具(アクリルガッシュ) 鉛筆、練り消しゴム 筆洗、雑巾 四つ切り画用紙 教科書・資料集 絵具 ハガキ大画用紙
	2 3 4 5 6		絵画 「風景画を描く」「遠近法による自分空間」	空間表現を遠近法を自由に選択し、表現することができる	遠近法と、線識面を駆使し、平面に空間を表現することができることを理解する	遠近法を学ぶことで絵画表現に関心を持って取り組むことができる	線識面を学び、遠近法と組み合わせて自分のイメージに合う表現を構想することができる			
	7 8 9 10 11 12		「自分のベストプレイス～観ること～」 風景画を描く	絵の具の使い方 自分がいいと感じた場所を見つける(空間や、物、場所等) ポートフォリオとして完成	何気ない風景の中でピントに迫ることで新たな発見を実感させる 1時間につき一枚の製作を行う感動を速描きをさせていくことを思いを表現しやすくしていく	興味・関心を持って取り組むことができる 自分のこだわりを持って作業に意欲的に取り組むができる	自分の視点を持って、伝えるため想像力を働かせて構想をね練ることができる	絵の具の使い方、表現の方法を理解し創造的に表現することができる	他者に作品を見せる上でレイアウトを工夫し、展示することを味わう	
			鑑賞 「印象派について」 西洋、東洋、双方の風景画を鑑賞	西洋及び日本の美術の文化遺産を鑑賞し、表現の相違と共通性に気付き、それぞれのよさや美しさ、創造力の豊かさなどを味わい、文化遺産を尊重するとともに、美術を通じた国際理解を深めること。	作者が対象をどのように観察し、表現していったのか、作品を通して思いを深め、改めて理解し、心豊かに生きることと美術のかかわりなどに関心をもって鑑賞する喜びを味わうことができる	西洋風景画の変遷とジャポニズムを知り、風景画についてイメージの幅が増え、関心を持って作品を鑑賞することができる			風景画から受ける印象は、見る人の価値観によって様々存在して良いということを理解し、自分なりに味わうことができる	
			美術館鑑賞	美術館、博物館に行き、感想をレポートする	本物の作品を見たときの感動をしっかりと文章化して伝えることができる	美術作品に関心を高め、好きな作品について主体的に資料などを集めレポート作成することができる				
			木工芸 「木との対話」 木工パズルを作成	テーマは自由とし、独創性のあるデザインについて考える 工具の使用の注意事項を把握して作業を行う 糸ノコギリの使用法 彫刻刀使用	規制の中において自由な発想を表現できるのかの検討ができる 木工の良さを味わって、粘り強く自分の表現を追究することで良い作品が生まれることを実感を持って体験させる	素材のよさや美しさを味わうことができる 制作への関心や意欲を高めようとしている 説明をよく聞き、創意工夫し、自分のオリジナルを生み出す	木材を裁断することを踏まえ、デザインのイメージから作品になる行程を考えて構想することができる 美しい仕上がりを目指して工夫している	作業に使用する工具の特性、注意事項をしっかりと把握している 美しい仕上がりを目指して工夫している	テーマから感じられる作品の面白さがしっかりと反映されている 他者の作品を鑑賞し、制作の意図や心情をつかみ、生活と美術との関わりについて考えることができる	木材(木工パズル) 彫刻刀 スケッチブック、ワークシート アクリルガッシュ 鉛筆、練り消しゴム 教科書・資料集 ※糸ノコ
	9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8	鑑賞 「伝統工芸について 現在の伝統工芸の現状を知る	生活の中のデザインや伝統的な工芸を鑑賞し、豊かな発想と工夫、美と機能性の調和、作品に託された願いと造形的なよさなどに気付き、生活におけるデザインや工芸の働きについて理解すること	日本の伝統工芸の状況を理解することにより、あらためて日本の風土のあつた工芸について理解を深める	生活の中の造形に親しみ、日本文化の継承と創造、心豊かに生きることと美術のかかわりなどに関心をもって鑑賞する喜びを味わうこと			生活の中に美術が様々に用いられており、日本の美と風土にあつた機能性にあたためて気づき、日本の伝統工芸の現状について理解する	
	9 10 11 12	9 10 11 12	絵画 「見たことのない自分を発見～写真を利用したボストリゼーション～」 自画像を描く	写真を使用してデザインを完成させる 区分けと転写 色のグラデーション 今の自分というテーマで写真を撮影	顔の表情、喜怒哀楽、角度などの工夫して今の自分を切り取る 写真から白黒コピーへ変換、境界線を引く(グレースケール) デザインの配色を自分の趣味(音楽等)からヒントを得る	趣旨を理解し、関心を持って作業が行える 見えないものを色に置き換える復習と、グラデーションの復習を同時に意欲的に行う	自分の作業工程を予想し、どこまでできるか工夫して作業を行う	明度と色を工夫して自分を表現する 美しいグラデーションと表情の表現を工夫し創造することができる	自分の今との気持ちを融合させて表現することができる 鑑賞として他者へ自分の今を知つてもらう	ワークシート 絵具(アクリルガッシュ) 鉛筆、練り消しゴム 筆洗、雑巾 四つ切り画用紙 教科書・資料集 イラストボード
	1 2 3	1 2 3 4 5 6 7 8	鑑賞 「ポップアート」 見方を変えた表現	自分たちが置かれている環境について、当たり前にあるものを改めて観察することにより、美術の存在に改めて気付き、理解を深める	作品から読み解く自分なりの性格判断が、作者の思いと通じて見たときにどう感じるかを理解する	概念にとらわれず新たな角度から表現することを知り、関心や意欲を高めることができる			自分が作品を鑑賞した際の意見と他者の意見を比較してどう感じたかを多角的に理解する	